

訂正の2 第2図 アメリカの望遠鏡の分布

州名	口径		州名	口径	
	大口	中口		大口	中口
ハワイ	2	4	カリフォルニア	5	12
アリゾナ	8	18	テキサス	2	1
オハイオ	0	4	マサチューセッツ	1	3
ペンシルバニア	0	4	コネチカット	0	3

訂正の3 国別・口径別分布図

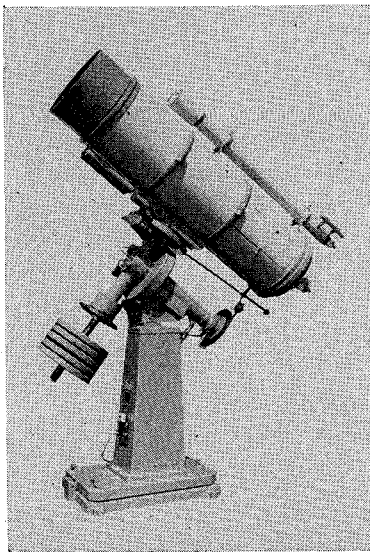
口径 (m)	反射 (L)	屈折 (R)	シュミット (S)	マクストフ (M)
第1図 アメリカ				
0.5	9(11)	6(5)		
0.6	22(24)	5(3)	5(5)	
0.7	8(9)	2(2)		
0.9	15(14)	1(1)		
1.0	7(6)	1(2)		
1.4	9(8)	0(0)	1(1)	
2.5	3(2)	0(0)		
第3図 ソ 連				
0.5	7(8)	0(0)	1(1)	5(4)
0.6	0(0)	1(1)	0(0)	1(3)
0.7	8(8)	0(0)	0(0)	2(1)
第3図 イタリア				
3.5	1(0)			

極位置の年周成分について

地球の瞬間的極位置は緯度観測からも、また時刻観測からも求まる。ところが ILS の緯度観測から求まる極位置の年周成分と PZT やアストロラープの時刻観測から求まるそれとの間には、系統的差異があると思われる (天文月報1970年10月号には、これに関する解説記事がある)。この差異を説明する試みが、安田・青木によってなされた (P.A.S.J., 24, 127)。これによると、PZT の観測に使用された星の星表誤差によって、差異が生じたとしている。勿論、以前より、PZT のデータは緯度の異なる観測地点のものであるため、使用した星がそれぞれ異なっており、星位置の誤差を簡単に除くことができないことはわかっていたが、多くの観測を用いれば誤差は平均として小さくなると考えてきた。この論文では PZT の星の位置を子午環観測による AGK 3R の位置と比べて、その系統的差異が極位置決定の年周成分の系統的差異を説明し得るとしたものである。(畑中至純)

光害防止運動

回転サーチライト禁止や一般光害防止等をよびかける運動が各地の天文同好会の間でもちあがり、4月2日に国立科学博物館で会合が催されます。この運動を推進する母体の連絡先は 川崎市細山 535 箕輪敏行氏です。

天体望遠鏡
ドーム、製作

西村製の天体望遠鏡

40 cm 反射望遠鏡の納入先

- No. 1 富山市立天文台
- No. 2 仙台市立天文台
- No. 3 東 京 大 学
- No. 4 ハーバート大学 (USA)
- No. 5 ハーバート大学 (USA)
- No. 6 台北天文台 (TAIWAN)
- No. 7 北イリノイズ大学 (USA)
- No. 8 サン・ジェゴ大学 (USA)
- No. 9 聖アンドリウス大学 (ENGLAND)
- No. 10 新潟大学高田分校
- No. 11 ソウル大学 (KOREA)
- No. 12 愛知教育大学(刈谷)

606 京都市左京区吉田二本松町 27

株式会社 西村製作所

TEL. (075) 771-1570
691-9580